

令和三年度 日本植物病理学会関東部会プログラム

オンライン開催(令和3年9月21~22日)

特別講演

AIを活用した病害虫画像診断技術の開発

法政大学 生命科学部 鍵和田 聡 氏

座長: 佐々木信光 (東京農工大学)

1. ●北浦健太郎¹, 岡田亮², 小河原孝司², 森山裕充¹

(¹農工大院連農, ²茨城農総セ園研)

通気条件が *Colletotrichum fructicola mitovirus 1* の細胞内局在性に及ぼす影響調査

2. ●作田康平¹, 内田景子², 福原敏行¹, 植松清次², 森山裕充¹

(¹農工大院農, ²農工大細胞分子)

アスパラガス疫病菌 (*Phytophthora* sp.) に感染する *Phytophthora endornavirus* の完全長 cDNA クロームの構築

3. ●呉建甫¹, 中村賢吾¹, 福原敏行¹, 小河原孝司², 森山裕充¹, 岡田亮²

(¹農工大, ²茨城園芸研)

A new alternavirus, *Diaporthe alternavirus 1* (DAV1), isolated from *Diaporthe* aff. *acuta* of strawberry

4. ●丸山洋平¹, 千葉悠斗², 浦山俊一², 萩原大祐², 福原敏行¹, 森山裕充¹

(¹東京農工大学 大学院 農学府, ²筑波大学 糸状菌応答講座)

ナシ黒斑病菌に混合感染する, *Alternaria alternata chrysovirus 1* と新規 *polymycovirus* のゲノム及びウイルス構造タンパク質の解析

座長: キムオッキョン (東京農業大学)

5. ○一木珠樹¹, 大橋美保¹, 廣岡裕吏², 五十嵐元子³, 由井秀紀⁴, 花田薫¹, 菱田敦之^{3,5}

(¹農研機構遺資セ, ²法政大植物医科, ³医薬健康研薬植セ, ⁴長野野花試佐久, ⁵東農大農)

薬用植物センブリから検出された植物ウイルス

6. ●金井勇樹¹, 延原愛¹, 鍵和田聡¹

(¹法政大植物医科)

ハナキリンにおけるポインセチアモザイクウイルスおよび *poinsettia latent virus* の初検出

7. ●鈴木拓海¹, 岩渕望¹, 徳田遼佑¹, 松本旺樹¹, 吉田哲也², 西川雅展¹, 前島健作¹, 難波成任¹, 山次康幸¹

(¹東大院農,²農研機構生物研)

mirabilis crinkle mosaic virus によるヨウシュヤマゴボウ縮葉モザイク病 (新称)

8. ●松本旺樹¹, 宮崎彰雄¹, 床嶋隼¹, 鈴木拓海¹, 吉田哲也², 岡野夕香里³, 二條貴通¹, 前島健作¹, 難波成任¹, 山次康幸¹

(¹東大院農,²農研機構生物研,³福島大食農)

ポテックスウイルス属の暫定種 *Viola mottle virus* の全ゲノム情報に基づく分類学的帰属の検討

座長: 森山裕充 (東京農工大学)

9. ●久保田諒介¹, 佐々木信光¹, 松下保彦²

(¹農工大院農,²東京農工大学遺伝子実験施設)

ジャガイモ X ウイルスの細胞間移行に与えるタバコの膜タンパク質 NtREM の一過的過剰発現の影響

10. ●中村友紀¹, 高松海斗¹, 落合剛流¹, 影山達哉¹, 天野政史², 北宜裕¹, 井村喜之¹

(¹日本大学 生物資源科学部,²(株)埼玉原種育成会)

キュウリ Vps4 遺伝子の変異はウイルスの細胞間移行を抑制する

11. ○林一沙¹, 沖友香¹, 下元祥史¹, 富高保弘²

(¹高知農技セ,²農研機構)

メロン黄化えそウイルスの弱毒化に関わるアミノ酸変異

12. ○久保田健嗣¹, 塚原成俊², 星野啓佑³, 池田健太郎³, 酒井宏³, 鳥山君彦²

(¹農研機構植防研,²イノベックスサイエンス(株),³群馬農技セ)

アルパカ VHH 抗体ライブラリーを用いて作製した抗ウリ類退緑黄化ウイルス抗体の反応性

座長: 石賀康博 (筑波大学)

13. ●鈴木陽葉里^{1,2}, 伊藤智貴^{1,2}, 小賀田拓也³, 塚原祐樹^{1,2}, 佐々木信光^{1,2}, 松下保彦^{1,2}

(¹農工大遺伝子,²農工大院農,³国際農研生物資源利用)

エチレン応答性因子 NtERF5 によるジャガイモ X ウイルスの増殖抑制効果の解析

14. ●田崎光佑¹, 加藤新平¹

(¹信州大農)

タバコの CBP60 型転写因子はサリチル酸合成関連遺伝子の発現を制御する

15. ●中村哲太郎¹, 大澤友紀子¹, 小倉里江子¹, 平塚和之¹

(¹横浜国立大学 環境情報学府)

植物のストレス応答に着目した新規プラントアクティバターの探索に関する研究

16. ●福丸文香¹, 富田未緒¹, 根岸紘生², 中村哲太郎¹, 小倉里江子¹, 平塚和之¹
(¹横浜国立大学 環境情報学府, ²横浜国立大学 理工学部)
広範囲な病害応答を活性化する新規化合物の特徴付け

座長: 小倉里江子 (横浜バイオテクノロジー株式会社)

17. ○坂田七海¹, 石賀貴子², 石賀康博²
(¹筑波大院生命地球, ²筑波大生命環境)
Pseudomonas cannabina pv. *alisalensis* TrpA は様々な宿主への感染において重要である

18. ○石賀貴子¹, 坂田七海², 臼杵義侑², 五味剣二³, 石賀康博¹
(¹筑波大生命環境, ²筑波大院生命地球, ³香川大農)
タイプ III エフェクター HopR1 はキウイフルーツかいよう病菌の主要な病原力因子である

19. ●菊池真緒¹, 中島雅己¹, 古谷綾子²
(¹茨大院農, ²茨大遺伝子)
イネ白葉枯病菌 3 型分泌機構の新規制御因子の探索

20. ●横山遼人¹, 富田駿², 横田健治³, キムオッキョン¹, 岩波徹¹, 篠原弘亮¹
(¹東京農大農, ²産総研生物プロセス, ³東京農大農化)
Pseudomonas sp. BM2-6 による *Pseudomonas tolaasii* の tolaasin 産生の抑制

座長: 宇佐見俊行 (千葉大学)

21. ○高井裕一郎¹, 上松寛¹, 水野明文¹, 松浦貴之¹
(¹横浜植防)
ELISA によるトウモロコシ種子からのトウモロコシ葉枯細菌病菌の検出

22. ○榊原友香¹, 中沖美優¹, 上松寛¹, 松浦貴之¹
(¹横浜植防)
土壌からの *Phytophthora ramorum* の検査方法の検討

23. ○高橋真秀¹, 青木由¹, 横山とも子¹
(¹千葉農林総研)
千葉県で発生するナシ黒星病菌の *CYP51* 遺伝子

24. ○石井英夫^{1,2}, 綿打享子³, 横澤志織⁴, 山岡裕一¹
(¹筑波大生命環境, ²吉備国際大, ³山梨県庁(前山梨果樹試), ⁴長野果樹試)
ブドウ白腐病菌のフルジオキシニル, QoI, SDHI 剤感受性と *cytb*, *sdhB* 遺伝子のシーケンス

座長：月星隆雄（農研機構）

25. ○坂本彩¹, 埋橋志穂美², 星秀男³, 堀江博道⁴, 柿嶋真⁵
(¹東京島しょ農水セ, ²農研機構資源研, ³東京農総研, ⁴法政大植医セ, ⁵筑波大)
Puccinia paullula によるモンステラさび病(新称)

26. ○中沖美優¹, 上松寛¹, 松浦貴之¹
(¹横浜植防)
オリーブに発生した *Verticillium dahliae* によるバーティシリウム立枯病(新称)

27. ●柴田紗帆¹, 安藤裕萌², 廣岡裕吏¹
(¹法政大植物医科, ²森林総研)
複数ツツジ属植物に新たに見出された *Exobasidium japonicum* によるもち病

28. ○野澤俊介¹, 高田美輝¹, 小嶺正敬², 内川敬介², 菅康弘², 渡辺京子¹
(¹玉川大, ²長崎農林技開セ)
ビワ果実腐敗病原広義 *Pestalotiopsis* 属菌の花への感染の証明

座長：門馬法明（園芸植物育種研究所）

29. ●高田美輝¹, 野澤俊介¹, 小嶺正敬², 渡辺京子¹
(¹玉川大, ²長崎県農林技開セ)
ビワ果実腐敗原因 *Colletotrichum fioriniae*, *C. nymphaeae* および *C. gloeosporioides* の花での潜在感染の可能性

30. ●矢嶋優仁¹, 成澤才彦¹
(¹茨大院農)
テンサイに根腐病耐性を付与する Dark Septate Endophytic fungi の選抜

31. ●Pitti Eduardo¹, 宇佐見俊行¹, 宍戸雅宏¹
(¹千葉大院園)
Paenibacillus spp. may facilitate anaerobic soil disinfestation under low temperature condition

32. ●須藤香子¹, 和田拓也², 宇佐見俊行²
(¹昭和女子大附属昭和高校, ²千葉大院園)
納豆菌による水耕栽培サンチュの根腐症状の抑制